

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		河川管理事業				②事業番号		6302	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令 ○ 条例 ○ 規則		要綱		計画等		その他	
⑦実施手法		直営		全部委託 ○ 一部委託		補助・負担		その他	
⑧関連予算科目コード		款		7		項		3	
⑨担当部名		上下水道部		⑩担当課名		下水道整備課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 管理河川		① 河川数		本	
②		②			
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
要望等により、以下の業務を委託している。 ・河川内の草刈 ・河川の浚渫 ・河川施設の修繕 ・河川改修工事		① 要望回数		回	
		②			
		③			
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
河川機能を保持、改善し、良好な状態を保つ。		① 修繕件数		件	
		計算式			
		② 清掃件数		件	
		計算式			
		③ 工事件数		件	
		計算式			
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
防災や環境面に配慮した河川の維持改修をおこなうとともに、河川の管理を適切に行う。		政策(章)		5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)		1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします	
		施策中		1 河川・ため池の保全と活用	
		施策小		1 河川の整備	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	河川数	本	15	15	15	15	15	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	要望回数	回	6	5	5	5	5	
活動指標②								
活動指標③								—
成果指標①	修繕件数	件	6	4	2	4	4	
成果指標②	清掃件数	件	5	9	8	7	7	
成果指標③	工事件数	件	1	2	1	1	1	
事業費	投入人員	人	0.30	0.50	0.30	0.30		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	2,410	4,015	2,432	2,432		
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	4,443	5,303	3,321	1,764		—
	直接事業費	千円	6,853	9,318	5,753	4,196		
	総事業費	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	29	29	31	31		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	52	2,152	409	50		—
	その他特定財源	千円	6,772	7,137	5,313	4,115		
	一般財源	千円						

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	管理河川についての整備、維持管理を行うことを目的として事業化している。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	改修工事から維持管理にシフトしていている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	防災や環境面に配慮した河川の維持改修を行うとともに、河川の管理を適切に行う。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	河川は公共性が高く、防災等の観点からも行政が責任を持って対応する必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	泉南市で管理する河川及び管理内容は決まっており、適正に行っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	適切な河川管理が行われなければ、周辺環境や衛生面又、防災においても影響が大きい。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	河川機能が保持され、良好な状態に保たれている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	老朽化した河川構造物の計画的な改修を行うことによって、成果の向上が図られる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある イ. ない	委託内容の見直し等によりコスト削減の努力をしていく。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	河川は公共性が高く、受益者負担は馴染まない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	河川施設を維持・管理していくことは、周辺環境を向上させ、又治水の面からも必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 ↓ イ. 見直しのうえで継続 ↓ ウ. 終了 (年まで) ↓ エ. 休止 (年から) ↓ オ. 廃止 (年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—